

長崎大学経済学部・経済学会
講演会のご案内

このたび、モントリオール大学のヤコヴ・M.ラブキン氏をお招きして、下記のとおり講演会を開催いたします。教員、大学院生、学部学生の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成 29 年 2 月 27 日（月） 15 時～17 時

会 場 経済学部新館 1 階 101 教室

講 師 ヤコヴ・M.ラブキン氏（モントリオール大学）

テーマ イスラエルにおけるユダヤ教の役割と行く末

概 要 講師は旧ソ連・レニングラード（現サンクト＝ペテルブルク）生まれのユダヤ人。専門はロシア史、ユダヤ史。近代国家主義の権化たるシオニズムによって建国されたイスラエルは、正当なユダヤ教徒達の国ではないとの立場から、現イスラエルの軍国主義を鋭く批判する。講演では、イスラエルとパレスチナの現状についても語られる予定。
【参考文献】ヤコヴ・M.ラブキン『イスラエルとは何か』平凡社、2012年

* 講演は英語で行われます（通訳あり）

* 申し込みは不要です

問い合わせ先：経済学部教授 井田 洋子（820-6401）